

報告日 令和6年5月30日
報告回数 1日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宇部市		代表者名	宇部市長 篠崎 圭二	
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	市民環境部マイナンバーカード推進課	連絡先電話番号	0836-34-8068
担当者役職	課長	担当者氏名	民谷 有弘	連絡先E-mail	
住所	755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	窓口業務改善事業
概要	本市の窓口業務DXを推進するための庁内検討会の進め方やデジタルツールの活用方法などに関する指導、助言		
支援を求める分野	人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 行政手続オンライン化 マイナンバー その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年5月23日	事前打合せ(オンライン)	15時00分	17時00分	
				活動時間(分)	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回は、今年度の全体的な事業計画から、現在検討している窓口業務のデジタル化への課題について具体的に指導が得られた。それにより、7月の来庁に向けて、関係課へ実施する調査内容などが確定した。
アドバイザーへの要望事項	Web会議で指導のあった調査表等を作成していくので確認をお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	6人
	属性	自治体職員	住民
	人数	6	企業・団体
			その他(学生など)
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	窓口業務改善に向け、窓口業務検討会(市民課、マイナンバーカード推進課、介護保険課、障害福祉課等の5部11課で構成)を令和6年4月に設置し体制づくりを行った。窓口業務の改善に関する事項、窓口業務のデジタル化に関する手法を検討していく必要があるが、デジタル化など専門的な事項についての情報や指導が必要。		
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	EBPMの考え方を踏まえた窓口での取得データ活用による窓口業務改革と、窓口空間のあり方検討による業務効率化及び市民利便性の向上させる。令和7年度の予算で窓口業務のDXを実施し、来庁せずにオンラインで手続きを完結することと可能とし、中山間地域に住む方々や高齢者に対しても手続きが容易な体制を整える。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①今年度の全体的な事業計画について ②窓口利用体験調査の実施について ③窓口DXSaaS移行への課題について ④行政手続きのオンライン化に関する調査方法について	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	令和6年度に取り組むべきことの計画化ができた。窓口利用体験調査の実施時期・方法が決まった。また、アドバイザーからの指導のもとに、各事業のロードマップを作成して、7月19日の次回の会議までに調査等の準備を行う。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 次回の7月19日に向けてどうい計画を立てていくかが理解できた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は年間の事業計画についてなどで、直接担当する職員がWeb会議に参加することができ、成果は会議録で確認できるため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 各事業の進め方と導入すべきシステム等が概ね決まった。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	指導・助言による窓口DXの推進への職員の意識改革と総務省の令和7年度自治体フロントヤード改革モデルプロジェクトへの採択。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

